

池田晶紀 Portrait Project 2012-2018

## いなせな東京

INASE NA TOKYO MASANORI IKEDA



- 展覧会名：池田晶紀 Portrait Project 2012-2018 「いなせな東京」
- 会 期：2018年9月22日（土）～10月14日（日）会期中無休
- 開場時間：11:00-20:00 ※最終入場19:30
- 料 金：無料 ※9/30（日）のイベントは有料
- 会 場：アーツ千代田 3331 1階 メインギャラリー  
（〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14）
- 主 催：（一社）コマンドN、3331 Arts Chiyoda
- 後 援：千代田区、一般社団法人千代田区観光協会
- 協 賛：新日鉄興和不動産株式会社  新日鉄興和不動産  
一般社団法人淡路エリアマネジメント  WATERRAS
- 協 力：株式会社ゆかい、安田不動産株式会社

## サテライト展示／ワテラスコモン会場

会場：ワテラスコモン 2階 ギャラリー  
（東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地）

会期：2018年9月25日（火）

～10月14日（日） 会期中無休

時間：11:00-20:00 ※日曜は18:00まで

料金：無料

## 池田晶紀 Portrait Project 2012-2018 「いなせな東京」 展覧会／関連イベントのお知らせ

「本展に登場する人々は、東京・神田を中心とした現在に生きる江戸っ子たち。どうもこの地域の人たちは、この街にいることを楽しんでいるように見えました。『いなせな東京』と題した写真展、及び写真集は、そんな地域の気風をテーマにしたものです。」(池田晶紀)

「池田晶紀ポートレートプロジェクト」は、写真家の池田晶紀氏が“神田っ子”をモデルにポートレイトを撮影する企画として始まり、2012年から足かけ6年に渡り継続してきました。神田を中心とした東京の町中で、地域住民 や地元企業、同地の再開発を手がける建設会社をも巻き込み、アーティストたちが大小様々なアートプロジェクトを行う「TRANS ARTS TOKYO」を契機にスタートし、現在では千代田区全域にモデルの対象を広げています。これまでに撮影された作品は屋外や店舗の壁面等パブリックな場所でも展示され、その数は100枚を越えます。

タイトルの「いなせな東京」における“いなせ”とは、江戸時代にその由来をもつ言葉。本展の作品には、池田氏の撮影技術によって引き出されたモデルたちの明るく清々しい気風が写し出され、現在の大都市の中に確かにある「いなせな東京」の存在を感じさせてくれます。2020年に向けて「東京」という都市が改めて脚光を浴びる中、池田氏が作品を通じて提示する「いなせな東京」の姿をご覧いただける展覧会となっています。



松永直美／レモン画翠 2018年  
©Masanori Ikeda

### ■作家紹介

#### 池田晶紀 Masanori Ikeda 写真家

1999年自ら運営していた「ドラックアウトスタジオ」で発表活動を始める。2003年よりポートレート・シリーズ『休日の写真館』の制作・発表を始める。2006年株式会社「ゆかい」設立。2010年スタジオを馬喰町へ移転。オルタナティブ・スペースを併設し、再び「ドラックアウトスタジオ」の名で運営を開始。国内外で個展・グループ展多数。アーティスト三田村光土里とのアートユニット「池田みどり」としても活動。フィンランドサウナクラブ会員、サウナスパ健康アドバイザー、シェアリングネイチャー指導員、水草レイアウト、かみふらの大使など。



©Ikenoya Yuka (YUKAI)

### ■みどころ

#### 1. 町の気風を体現するモデルの表情

モデルとなった人々は自身が営むお店の前や、自宅など、それぞれが「生きる場所」で撮影されました。人の内面性をユーモラスかつポジティブに表現する池田氏の写真家としてのテクニックは、彼らの独特な表情を瞬時に引き出し撮影します。本展ではこれまでに撮影された100点以上の作品を一挙展示し、そこに映し出されたその人の佇まいと背景から現代に生きる「いなせな東京」が浮かび上がります。

#### 2. 懐かしく新しい東京像としての「いなせな東京」に焦点を当てるトークイベント

9月30日(日)、池田氏とコピーライターの糸井重里氏によるトークイベントを開催。

独自のキャッチコピーで時代の様相を切りとってきた糸井氏と現代に生きる江戸っ子を120以上撮影してきた池田氏によって引き出される新たな東京像にご期待ください。



石田勝彦／練成公園 2013年  
©Masanori Ikeda

#### 3. 池田氏のテクニックを間近でご覧いただけるパフォーマンス

モデルとの巧みなコミュニケーションによって彼らの独特な表情を瞬時に引き出し撮影する写真家・池田晶紀氏。会期中に開催されるポートレート撮影パフォーマンス「いなせな東京写真館」では池田氏が来場者のポートレート撮影を実施。その撮影技術を間近でご覧いただけます。

## ■ イベント情報

### トークイベント／「いなせな東京トーク」

出演：糸井重里（ほぼ日刊イトイ新聞主宰）、池田晶紀（写真家）

ゲストにコピーライターの糸井重里氏をお招きし、池田氏の撮影エピソードを交えながら「東京のいなせ」についてお話しいただきます。

日時：2018年9月30日（日）15:00-16:30

会場：1階 コミュニティスペース

参加費：1,000円（要申込／先着順）

お申込方法：チケットサイトPeatixよりお申込下さい。（特設ウェブサイトにURL記載）



糸井重里氏

### パフォーマンス／「いなせな東京写真館」

池田晶紀氏が会場内にセッティングした特設写真館「いなせなロケーション」にて、希望者のポートレイトを撮影するパフォーマンスを行います。「いなせなロケーション」は常設しますので、会期中はセット内でどなたでも自由に撮影出来ます。



撮影日：2018年9月22日（土）、9月29日（土）、10月6日（土） 時間：14:00-17:00

料金：無料 ※撮影を希望する方は当日会場にてお申込ください。（予約不要／先着順）

※写真館での撮影には同意書が必要です。撮影前にご確認ください。

### サテライト展示／ワテラスコモン会場

神田淡路町の複合施設ワテラス内のギャラリーにてワテラスにまつわる人々のポートレイト写真を展示。さらに撮影の舞台裏や撮影の緊張感やモデルの魅力的な表情がこぼれる撮影現場のメイキングもご覧いただけます。

会場：ワテラスコモン 2階 ギャラリー（東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地）

会期：2018年9月25日（火）～10月14日（日） 会期中無休

時間：11:00-20:00 ※日曜は18:00まで

料金：無料



ワテラスコモン外観

### 写真集／『池田晶紀 Portrait Project 2012-2018 いなせな東京』

著者：池田晶紀（写真家）

寄稿：小池一子（クリエイティブ・ディレクター、十和田市現代美術館館長、武蔵野美術大学名誉教授）

中村政人（東京藝術大学教授、アーツ千代田 3331 統括ディレクター）

「池田晶紀ポートレートプロジェクト」で2012年-2018年の間に撮影された写真とその展示風景を収録した写真集を出版。本書には青森県十和田市の市民プロジェクトに池田氏を招聘し、その魅力を知る小池一子氏とTRANS ARTS TOKYOディレクターを務め、本プロジェクトの仕掛人でもある中村政人によるテキストを掲載します。

発行元：（一社）コマンドN

価格：3,200円（税抜）

販売：3331 CUBE shop&gallery

（オンラインストア <http://store.3331.jp/>）

#### 同時期開催

**WHY Tokyo Biennale? 東京ビエンナーレ2020 構想展** 2018年9月22日（土）～10月14日（日）

**井田大介個展「Photo Sculpture」** 2018年9月22日（土）～10月14日（日）

**3331 Galleries スタンプラリー** 2018年9月22日（土）、23日（日）

■ご提供画像

下の画像を広報画像としてご提供いたします。

ご希望の方は、ご希望の画像にチェックし必要事項をご記入の上、リリース下部に記載の宛先までメールまたはFAX くださいますよう、お願いいたします。

- お願い： 1. 恐れ入りますが、掲載誌一部をご送付いただきますようお願いいたします。  
 2. クレジット表記は画像の下にあるものを表記願います。  
 3. ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名

掲載号 発売日／放映日 年 月 日

貴社名 ご担当者様

TEL FAX

E - MAIL

資料お届け期限 月 日 まで



TRANS ARTS TOKYO 2016より  
©Masanori Ikeda



小高愛花／神田まつや 2013年  
©Masanori Ikeda



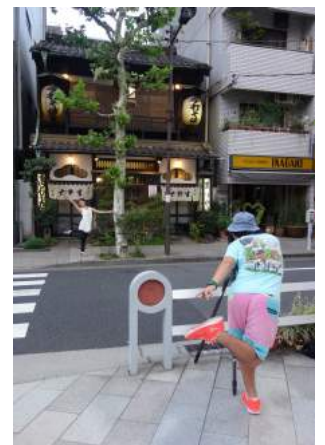
石田勝彦／練成公園 2013年  
©Masanori Ikeda



松永直美／レモン画翠 2018年  
©Masanori Ikeda



かんだやぶそば 2012年 ©Masanori Ikeda



撮影風景 2013年  
撮影：コマンドN